

障害者のための配慮事例

以下の事例を参考に、障害者のために配慮をお願いします。

全ての障害者のために

- 1 障害者専用駐車場（パーキングパーミット）の適正な利用を行う。
- 2 ヘルプマークを付けた方がいた場合、席を譲ったり、声をかけたりするなど配慮する。
- 3 エレベータ等への乗降の際、障害者の方を優先する。
- 4 映画館、講演会の入場について、優先受付、優先入場、優先席の設置等を行う。
- 5 受験や入学の際、障害特性に応じて、試験時間や座席の配置等に配慮する。

主に視覚障害者のために

- 1 点字ブロックの上に障害物を置かない。
- 2 誘導する場合は、相手にこちらの肩や腕につかまってもらい、相手のペースに合わせて歩く。
- 3 食事テーブルのコップ、茶碗、皿の位置を時計の文字盤に例えて説明する。
- 4 白杖を掲げて助けを求めている際に、声をかけて支援を行う。
- 5 音声案内のない横断歩道で、青信号になった際に声をかけて一緒に渡る。
- 6 鉄道等の駅において、電光掲示板の案内を口頭でお知らせする。
- 7 盲導犬が交通機関や飲食店等へ入店する際、役割を正しく理解し、周囲への理解促進を図る。

主に身体障害者のために

- 1 多目的トイレでのオムツ交換を行う方のために、ユニバーサルシートの設置や床に敷く新聞紙、使い捨て手袋等を設置する。
- 2 多目的トイレでのオムツ交換が不可能な方（寝たきりの方など）に対して、別の部屋を用意し、寝かせるための長椅子や長椅子カバー、使い捨て手袋等を提供する。
- 3 車椅子の方の代わりに、商品棚の上方の品物を取って手渡す。
- 4 車椅子の方が階段の昇降を希望する際、周りに声をかけてサポートを行う。
- 5 介助犬が交通機関や飲食店等へ入店する際、役割を正しく理解し、周囲への理解促進を図る。
- 6 車椅子の方と話すときに、かがんで視線を同じ高さにする。
- 7 車椅子の方の低床式バスの乗降時に、サポートを行う。

主に聴覚障害者のために

- 1 駅や車内の音声案内を筆談でお知らせする。
- 2 聴導犬が交通機関や飲食店等へ入店する際、役割を正しく理解し、周囲への理解促進を図る。
- 3 場面に応じて、筆談や要約筆記等のコミュニケーション手段を提示する。
- 4 手話を積極的に覚える。

- 合理的配慮は、障害の特性や具体的場面、状況に応じて異なるものです。
- 社会的障壁を取り除くことに過重な負担がかかる場合には、提供しなくても差別には当たりませんが、そのような場合も丁寧な対応をお願いいたします。
- 相互理解や思いやりの心が大切です。